

# 2020 東京オリ・パラ大会の その先へ

## G A P 推進の加速化

平成30年9月  
農林水産省生産局



GOODな農業!  
ギャップ  
農業でGAP  
みんなにGOOD!

“GAP”農産物は  
2020年  
東京オリンピック・パラリンピック  
選手を支えます

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では  
“GAP”に取りくんで生産された農産物が  
選手村で提供されます

農林水産省

# 東京大会を契機としたGAP推進の目標・施策と進捗状況

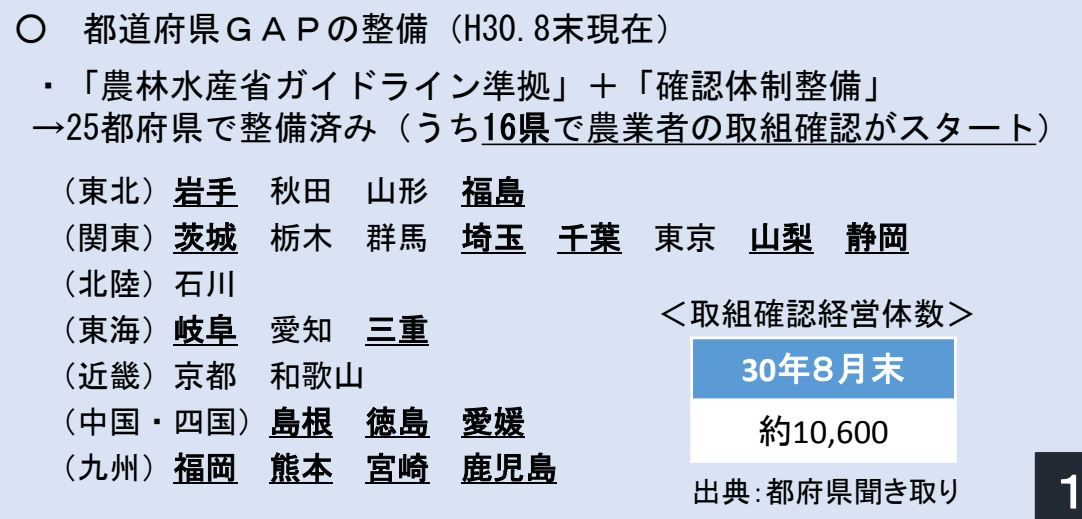
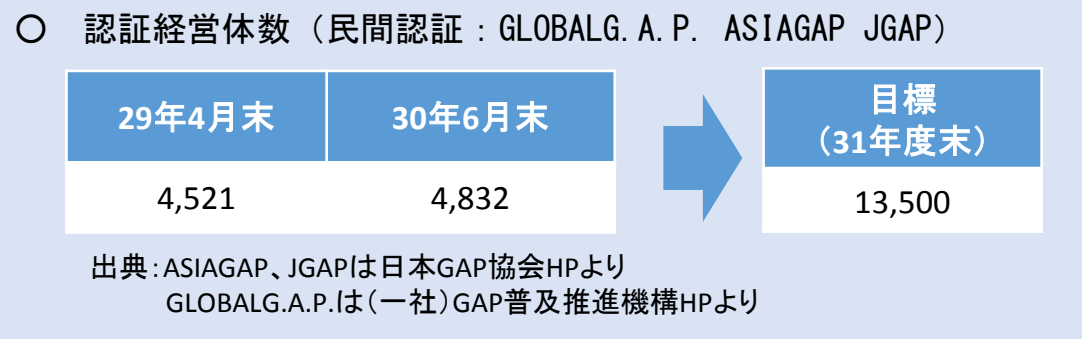
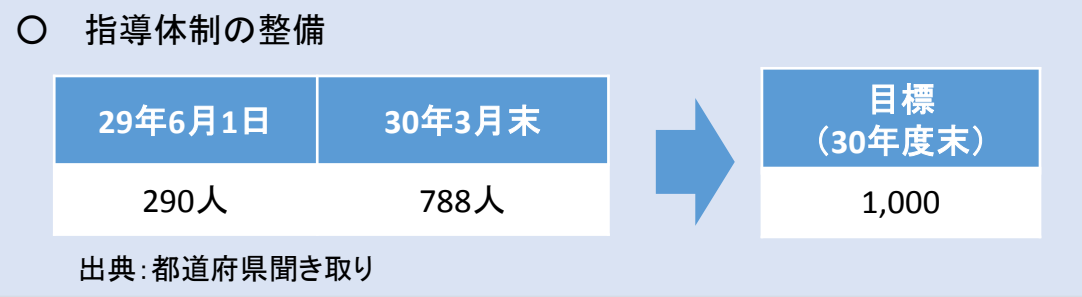
## 目標

- 平成30年度中に、各県内のGAP指導体制における指導員数を全国で1,000人以上育成・確保
- 平成31年度末までに平成29年4月末時点（約4,500経営体）の3倍以上の認証取得
- 都道府県等のGAPは、オリパラ調達基準を満たす農林水産省ガイドライン準拠に統一

## 主な施策

- 切れ目のない認証取得支援と指導体制整備支援を措置
  - ・ 民間認証の取得を支援（国直接事業）  
（28補正、29補正）
  - ・ 都道府県GAPの策定、確認体制整備を支援  
（国直接事業）（29当初）
  - ・ 都道府県による指導体制の整備と認証取得補助の取組を支援（交付金事業）（30当初予算）
- GAPの価値を周知する取組を実施
  - ・ 価値を共有する流通業者等を結集し、オールジャパンでの協力体制の構築に向けたパートナー会を本省・各地方ブロックで開催
  - ・ オリ・パラ関連企画と連動した消費者に対する認知度向上活動の実施（7月：埼玉県、8月：千葉県）
  - ・ 農林水産省webサイトにおいて都道府県ごとのGAP認証取得数等の進捗状況を定期的に公表（9月14日公開）

## 進捗状況



# 畜産におけるGAPの取組について

## 畜産における農業生産工程管理(Good Agricultural Practice)とは

農業生産活動の持続性を確保するため、  
 ①食品安全・家畜衛生・環境保全・労働安全・アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、②これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のこと。

## 畜産におけるGAPの推進状況

- ・平成29年3月31日にJGAP家畜・畜産物の基準書を公表(団体認証の基準書についても12月25日に公表)。
- ・審査認証機関の認定、審査員の養成等認証体制を構築し、平成29年8月21日に農場の認証を開始。
- ・平成29年8月31日にGAP認証取得の準備段階の取組であるGAP取得チャレンジシステムを運用開始。

<GAP認証取得等状況> (H30.8.29時点)  
 JGAP家畜・畜産物:35経営体(乳用牛3,肉用牛10,養豚19,採卵鶏3)、GAP取得チャレンジシステム:14経営体※(乳用牛2,肉用牛3,養豚4,採卵鶏4,肉用鶏1)、GLOBALG.A.P.:1経営体(大学1)  
※JGAP家畜・畜産物を取得した15経営体を除いた数値

(参考) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会持続可能性に配慮した調達コード  
 持続可能性に配慮した畜産物の調達基準(概要)

要件	要件への適合を示す方法	要件を満たした上で推奨される事項
①食材の安全 ②環境保全 ③労働安全 ④アニマルウェルフェア	・JGAP、GLOBALG. A. P. 認証 または ・GAP取得チャレンジシステムによる確認	・有機畜産により生産 ・農場HACCPの下で生産 ・エコフィードを用いて生産 ・放牧畜産実践農場で生産 ・障がい者が主体的に携わって生産

# 消費者へのPRを通じたGAPの理解度向上への取組

県や大規模小売店と連携したGAPイベントの開催や、都内にある各県アンテナショップを活用したGAP認証取得農産物の販売など、消費者へのGAPのPRを実施。

## オリパラ連動GAPイベントの取組 (Tokyo 2020 2 years to go)

- 埼玉県イベント
  - 日時：平成30年7月21日(土)～22日(日)
  - 場所：イオンレイクタウン(越谷市)
  - ※ 両日で2000名以上GAPブースに来訪
- 千葉県イベント
  - 日時：平成30年8月25日(土)～26日(日)
  - 場所：イオンモール幕張新都心(千葉市)
  - ※ 両日で2000名以上GAPブースに来訪
- (活動概要)
  - ・ GAPクイズ実施による県内産GAP認証取得農産物のプレゼント
  - ・ パネル展示によるGAPや県内の取組の紹介



GAPの紹介



GAPクイズの実施



GAP認証取得の農産物のプレゼント

## GAPアンテナショップの取組

- 期間
  - 8月下旬～9月下旬
- 開催アンテナショップ
  - 宮城県、福島県、三重県、滋賀県、島根県、熊本県
- 活動概要
  - ・ 各県産GAP認証取得農産物の販売フェア実施
  - ・ 併設するレストランでのGAP取得農産物を食材としたGAPメニューフェア実施
  - ・ 食材を通じたGAPの取組紹介



開催権紹介チラシの配布



GAP農産物の販売やレストラン提供

# GAPに関する情報発信の強化 (GAP-info(ギャップ-インフォ)開設)

- 各都道府県におけるGAP認証の取組状況や、GAPに取組んで生産された農産物に触れていただけるような関連イベントの情報などを掲載。
- 各地におけるGAPに関する積極的な取組を紹介することで、一般消費者の皆様にもGAPへの関心を持っていただき、農業者の取組を後押し。

**農林水産省**

English キッズサイト サイトマップ

メニュー 逆引き事典から探す 組織別から探す

キーワードから探す Google カスタム検索 検索

ホーム > 生産局 > 農業生産工程管理 (GAP) に関する情報 > Goodな農業! GAP-info

更新日:平成30年9月00日

## Goodな農業! GAP-info

- はじめに
- とりくみ
- イベント



### はじめに | 農業の「GAP」ってなに？

消費者、生産者、環境にとって、「Good」な農業の取組のことを GAP (ギャップ) といいます。

GAP に取り組むことで、わたしたちが口にする食品の安全や、自然環境の保全、生産者の労働安全や人権の保護に配慮し、将来的に持続可能な農産物の供給の実現につながります。

また、持続可能な取組を求める 2020 年東京オリンピック・パラリンピックでは、選手村などで提供される料理に GAP 農産物がつかわれます。

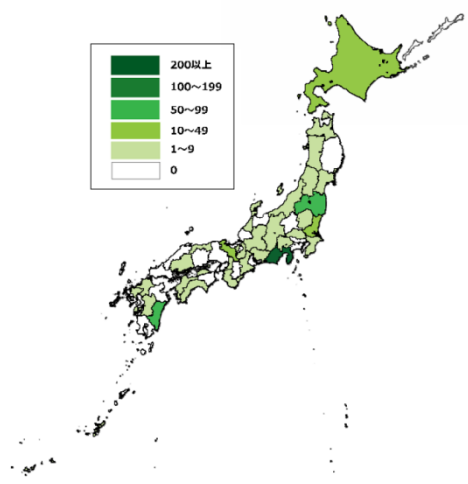
### とりくみ | 全国で認証取得がすすんでいます

民間の第三者認証機関がGAPの取組が正しくされているかチェックし、クリアした農場にGAP認証を与えるしくみがあります。認証を取得する生産者も、全国で増えています。

民間の第三者機関以外に、都道府県が取組を確認するしくみもあります。

### 第三者認証機関でのGAP取得数

JGAP・ASIAGAP、GLOBALG.A.P.の新規取得状況 (2018年4月1日～8月31日 農業環境対策課調べ)



※GAPの新規取得件数の実数はこちらをご覧ください。  
 ※H30 (2018年) 3月末のGAP認証件数の総数はこちらをご覧ください。

### イベント | GAPに関するイベント情報



### 注目情報

**秋田県**  
 オーガニックフェスタ in あきた2018 (終了しました)  
 日程: 2018/8/18~8/19  
 場所: 「道の駅 あきた港」 (秋田県秋田市)  
 URL: <http://ofakita.org/>

**岩手県・宮城県・福島県**  
 被災3県GAP等認証食材フェア  
 日程: 2018/9/18~9/21  
 場所: 中央合同庁舎8号職員食堂 (東京都千代田区)  
 URL: なし

### 産地から探す

#### 北海道・東北地方

**岩手県**  
 被災3県GAP等認証食材フェア  
 日程: 2018/9/18~9/21  
 場所: 中央合同庁舎8号職員食堂 (東京都千代田区)  
 URL: なし

**宮城県**  
 農業でGAP!? Inアンテナショップ(終了しました)  
 日程: 2018/9/8、9  
 場所: 「宮城ふるさとプラザ」 (東京都豊島区)  
 URL: なし

<2020東京オリ・パラ大会に向けた課題>

# 2020 東京オリ・パラ大会に向け 実際の調達にいかに結びつけるか？！



**G A P 農産物を調達するための情報が必要**

実際の調達に結びつけるために

## 内閣官房オリ・パラ事務局とともに 東京2020組織委員会と連携し

- 国内の産地における供給可能な  
食材名、量、認証の種類などの  
詳細な情報を収集
- 国産GAP農産物の積極的な  
調達のため、産地名等の情報を  
飲食提供の場において発信

## <対策のポイント>

我が国農畜産業競争力の強化を図る観点から、国際水準GAPの取組及び認証取得の拡大を図るために必要な取組を総合的に支援します。

## <政策目標>

- 平成29年4月時点の3倍以上のGAP認証を取得する [平成31年度まで]
- GAP共通基盤ガイドラインを国際水準に改訂 [平成32年度まで]
- 日本発GAP認証 (ASIAGAP) をアジアで主流の仕組み (デファクトスタンダード) とする
- 日本版畜産GAP取得経営体数の増加及び国産畜産物に対する評価の向上

## <事業の内容>

### 1. GAP拡大推進加速化事業 862 (601) 百万円

#### (1) 農産GAP拡大推進加速化 671 (410) 百万円

- ① **GAP取組・認証拡大推進交付金** 581 (360) 百万円
  - 地域の実情に応じて国際水準GAPの取組や認証拡大が加速的に進展するよう、都道府県の取組を交付金により機動的に支援します。

#### ② 民間団体等への補助事業 64 (49) 百万円

##### ア GAP関連運動推進

- 農作業安全や農薬危害防止運動等と連動し、**食品安全、環境保全、労働安全等のGAPの取組内容の理解度向上に向けた取組を支援**します。

##### イ GAP導入影響分析

- GAP認証取得後の農業経営における影響変化について定量的に調査・分析を行い、**GAP実践のメリットを整理する取組を支援**します。

##### ウ 日本発GAPの国際化推進

- 日本発GAP認証 (ASIAGAP) の利用拡大及び輸出促進のため、**海外実需等に対する研修等の取組を支援**します。

#### ③ GAP共通基盤ガイドライン改訂 25 (-) 百万円

- ガイドラインを国際水準へ改訂するため、**必要な分野に関する情報、既存の国際水準GAPの規格を踏まえた取組事項の調査・整理を実施**します。

#### (2) 畜産GAP拡大推進加速化 191 (191) 百万円

- 日本版畜産GAPの取組や認証拡大が加速的に進展するよう、**普及・推進体制等の強化や、「GAP取得チャレンジシステム」の取組を支援**します。

### 2. 日・アセアン連携によるGAP認知度向上推進 27 (14) 百万円

- 日本発GAP認証のアジアにおける認知度向上のため、**アセアン各国との情報交換や必要な調査等を行う調整員をアセアン事務局に派遣**します。

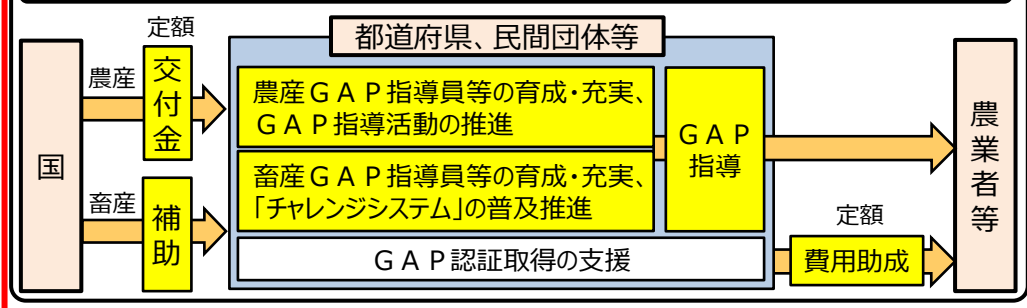
## (関連事業)

#### 農業経営確立支援事業 642 (673) 百万円の内数

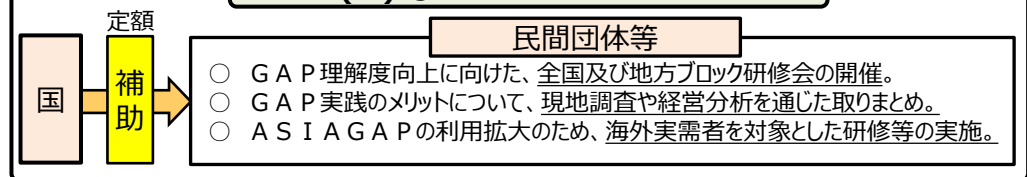
- 農業大学校等における国際水準GAPに関する新たな教育カリキュラムの作成・実施の取組を支援します。

## <事業のイメージ>

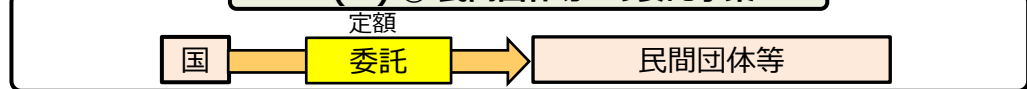
### 1(1) ① 都道府県へのGAP交付金、(2) 民間団体等への畜産GAP補助事業



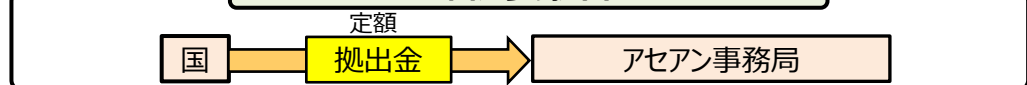
### 1(1) ② 民間団体等への補助事業



### 1(1) ③ 民間団体等への委託事業



### 2 国からの拠出金



【お問い合わせ先】 1(1)及び2の事業 生産局農業環境対策課 (03-6744-7188)  
 1(2)の事業 生産局畜産振興課 (03-6744-2276)  
 (関連事業) 経営局就農・女性課 (03-6744-2160)